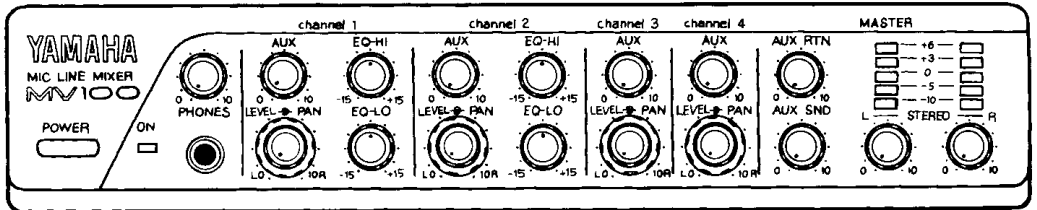


# YAMAHA

## MIC LINE MIXER

# MV100

### 取扱説明書 Operation Manual



## ごあいさつ

このたびは、ヤマハ・マイク/ラインミキサーMV100をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

MV100は、コンパクトながら4チャンネルインプット、ステレオアウトプットで、多様なユースに対応できるハーフラックサイズのミキサーです。

MV100の性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

## 目次

特長	2
ご使用上の注意	2
各部の機能と名称	
フロントパネル	3/4
リアパネル	5/6
システムセッティング例	7~9
仕様	10
寸法図	10
入出力仕様	11
ブロックダイアグラム	12
サービスについて	13

# 特長

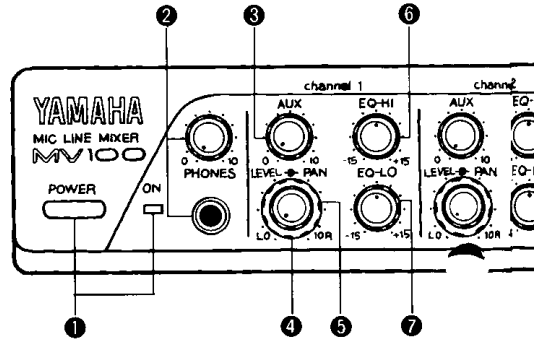
- 4種類のサウンドソースを入力でき、ステレオの状態にミキシングして出力することができます。
- チャンネル1および2にはLEVEL切替スイッチがあり、マイクロフォンの接続も可能です。さらに、2バンドイコライザー(LOW、HIGH)も装備していますので、音質の調整もできます。
- ステレオタイプのエフェクターが使えるAUX SND/RTNジャックを装備しています。
- チャンネル増設に便利なSUB IN (AUX,L,R) ジャックを装備しています。またライン入出力として、LINE IN、REC OUT ジャックも装備しています。
- MASTERレベルメーターを装備しているため、出力レベルの監視に便利です。
- モニターに便利なヘッドフォンジャックと、専用ボリュームを装備しています。
- コンパクトで軽量のハーフラックサイズなので、スペースを取らず、持ち運びにも便利です。

# ご使用上の注意

- スピーカーをいためる原因となりますので、各プラグの脱着時や電源のON/OFF時には、必ずマスターボリュームを絞ってください。
- 本機と他の機器(パワーアンプ等)とを接続する時は、必ず各機器の電源スイッチを切ってから行なってください。また、電源を投入する場合は、本機から先に、パワーアンプの電源は最後に入れてください。
- ACアダプターは、ヤマハPA-1B、PA-5をご使用ください。電圧や極性の異なる市販のACアダプターを使用しますと、故障の原因となることがありますのでご注意ください。
- 次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
  - ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
  - ・ 湿度の特に低い場所、または高い場所
  - ・ 湿気やホコリの多い場所
  - ・ 振動の多い場所
- スイッチやつまみ類に無理な力を加えることは避けてください。
- 故障の原因となりますので、ケースを開けたり改造したりしないようにしてください。
- 本機をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。(変色等の原因となります)お手入れには、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。
- お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印、購入年月日の記入がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。
- この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# 各部の機能と名称

## フロントパネル



### ①電源スイッチ(POWER) & インジケータ

電源をON(—)にすると、インジケータが点灯します。

### ②ヘッドホンジャック&レベルコントロール(PHONES)

ヘッドフォンをこのジャックに接続し、ミキシングの状態をモニターすることができます。

レベルコントロールで好みの音量に設定してください。

### ③AUXコントロール(AUX)：チャンネル1～4

本機リアパネルのAUX SNDにリバーブマシンやディレイマシンなどのエフェクターを接続した場合に操作します。そのエフェクターで効果をかけるチャンネルのつまみを回してください。

右へ回すほど、エフェクターへの送り出しレベルが上がります。チャンネルごとに設定してください。

### ④レベルコントロール(LEVEL)内側：チャンネル1～4

各チャンネルの入カレベルを調整するつまみです。

※使用していないチャンネルのつまみは“0”の位置にしておいてください。

### ⑤パンポットコントロール(PAN)外側：チャンネル1～4

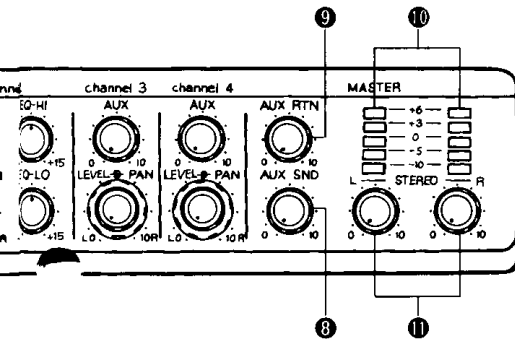
各チャンネルに入カされた信号をステレオL, Rに振り分ける時のバランスを設定するつまみです。つまみを中央にセットすると音像はセンターに定位し、L側に回すと左へ、R側に回すと右へ移動します。

### ⑥イコライザーコントロールHI(EQ-HI)：チャンネル1, 2のみ

高域の音質を調整するつまみです。12kHzを基準として最大±15dBの範囲でブーストまたはカットすることができます。

右へ回すほど高域がブースト(強調)され、左へ回すほどカットされます。

イコライジングしない時はセンターの位置にしておきます。



**⑦ イコライザーコントロールLO(EQ-LO) : チャンネル1, 2のみ**

低域の音質を調整するつまみです。100Hzを基準として最大±15dBの範囲でブーストまたはカットすることができます。

右へ回すほど低域がブースト(強調)され、左へ回すほどカットされます。

イコライジングしない時はセンターの位置にしておきます。

**⑧ AUXセンドボリューム(AUX SND)**

チャンネル1~4のAUXコントロール③でミキシング調整されたAUX信号を全体的にレベル調整するつまみです。

調整されたAUX信号は、リアパネルのAUX SNDジャックに出力されます。

**⑨ AUXリターンボリューム(AUX RTN)**

リアパネルのAUX RTN ジャックに接続したエフェクター機器からの、受け入れレベルを調整するつまみです。

このつまみでレベル調整されたエフェクト信号は、各チャンネルのステレオ信号L, Rとミックスされます。

**⑩ レベルインジケータ**

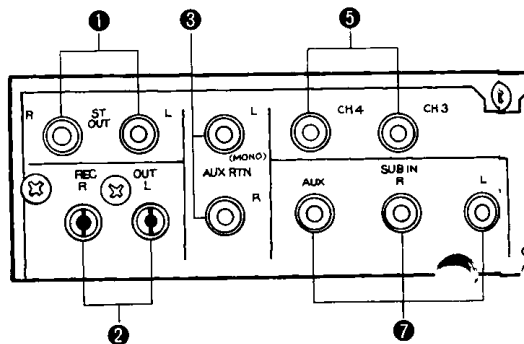
リアパネルのST OUT ジャックの出力レベルを-10dBから+6dBの範囲で表示するレベルインジケータです。

このインジケータを見ながらステレオマスターボリューム⑪で調整してください。

**⑪ ステレオマスターボリューム(STEREO L,R)**

チャンネル1~4、LINE IN(L, R)およびAUXリターンからミキシングされたステレオ信号L, Rを全体的にレベル調整するつまみです。調整されたステレオ信号L, Rは、リアパネルのST OUT ジャックへ出力されます。

## リアパネル



### ①ステレオアウトジャック(ST OUT L,R)

チャンネル1～4、LINE IN(L,R)およびAUXリターンでミキシングされたステレオ信号L,Rを出力するジャックです。

パワーアンプやキーボードスピーカー等と接続してください。出力レベルは、フロントパネルのステレオマスターボリュームで調整します。

注) ステレオマスターボリュームが“0”では出力されません。

### ②録音用出力ジャック(REC OUT L,R)

チャンネル1～4、LINE IN(L,R)およびAUXリターンからミキシングされたステレオ信号L,Rがステレオマスターボリュームの位置に関係なく一定レベルで出力されます。レコーディング時に、テープレコーダーの入力ジャック(LINE IN)に接続します。

### ③AUXリターンジャック(AUX RTN L(MONO),R)

外部のエフェクター機器で得た効果を、ステレオで入力できるジャックです。モノラル出力のエフェクターを接続する場合は、L(MONO)側のジャックに接続します。

### ④入力ジャック(CH1,2)

マイクロフォンや電気(電子)楽器等を接続するジャックです。マイクロフォンを接続する際には⑥のレベル切替スイッチを“-50”側にセットします。

### ⑤入力ジャック(CH3,4)

電気楽器や電子楽器等を接続するジャックです。

### ⑥レベル切替スイッチ(LEVEL -50/-20dB)

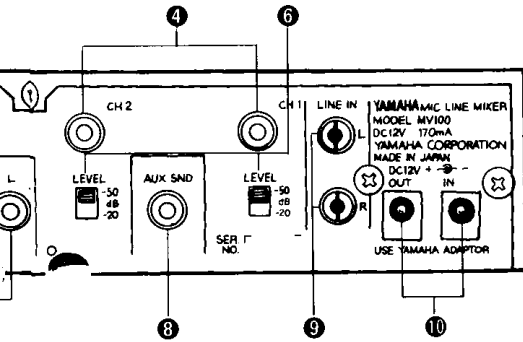
チャンネル1および2へ接続した機器の種類(出力レベルの大きさ)に合わせて切り替えるスイッチです。

マイクロフォンを接続した場合は“-50”側に、電気楽器や電子楽器を接続した場合は“-20”側にセットします。

### ⑦サブ入力ジャック(SUB IN AUX, L, R)

チャンネルの増設を行なう時に、もう1台のMV100を用意して接続するジャックです。このジャックに入力された信号は、各チャンネルのステレオ信号L,R,AUXとミックスされてST OUT L,R,AUX SNDジャックへ出力されます。

(9ページ「システムセッティング例3」参照)



### ⑧ AUXセンドジャック(AUX SND)

チャンネル1～4からミキシングされたAUX信号を出力するジャックです。ディレイやリバーブなどのエフェクター機器と接続します。出力レベルは、AUXセンドボリュームによって調整されます。

※AUXセンドボリュームが“0”では出力されません。

### ⑨ ラインインジャック(LINE IN L, R)

ステレオ信号の入力ジャックです。テープデッキ等のLINE OUTと接続します。入力される信号は、チャンネル1～4のステレオ信号L, Rとミキシングされます。

※入力される信号レベルは、調整できませんので、出力する側(テープデッキ等)で調整してください。

### ⑩ 電源端子(DC 12V IN, OUT)

本機の電源はDC + 12Vです。ACアダプターのプラグをDC 12V IN端子へ接続してください。

※ACアダプターは、別売のヤマハACアダプターPA-1BまたはPA-5をお使いください。

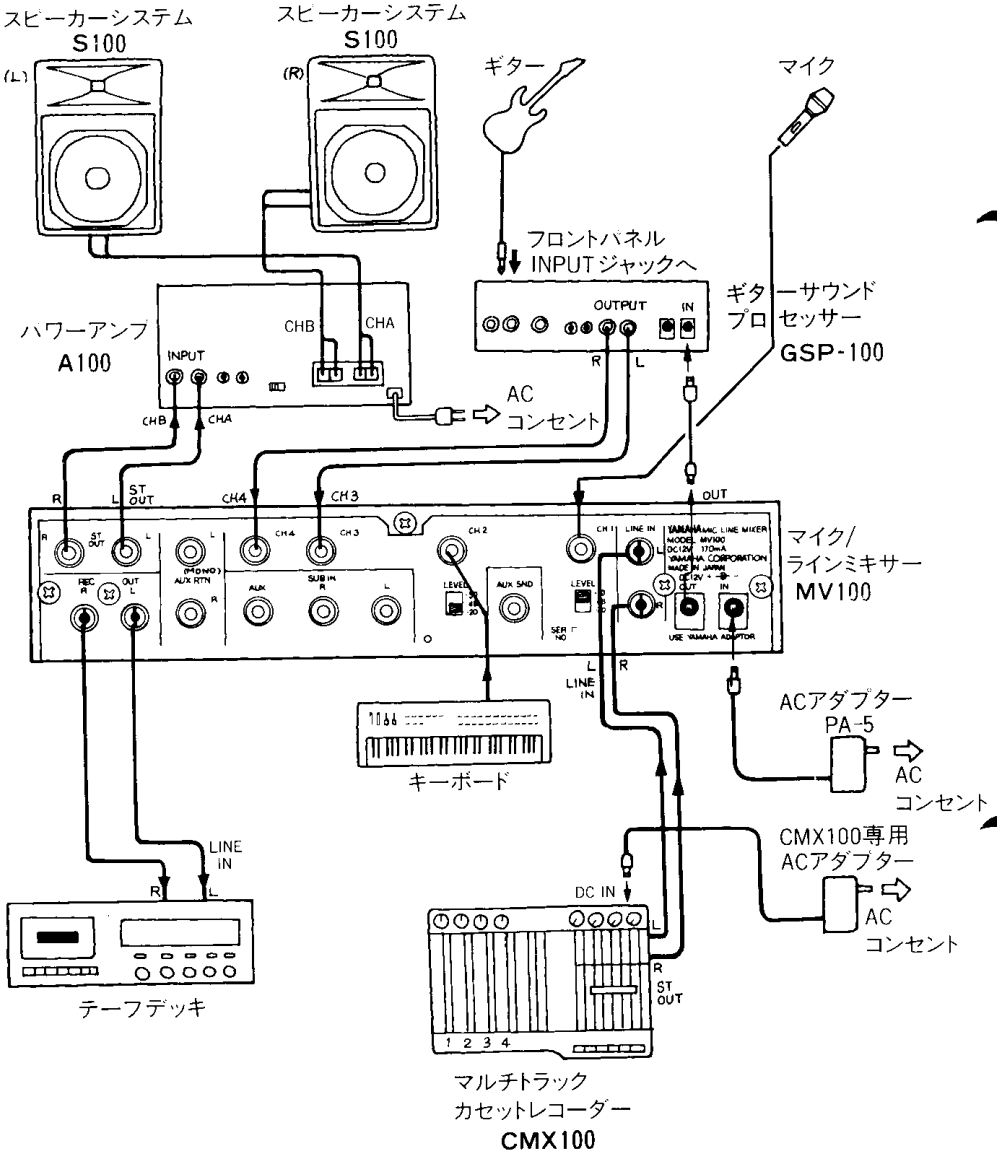
電圧や極性の異なる市販のACアダプターを使用すると、故障の原因となります。ご注意ください。

DC 12V OUT端子からは、GSP100やQ100などのDC + 12Vを電源とするヤマハ製品に電源を分配することができます。ただし、本機の消費電流(170mA)と、他のヤマハ製品の消費電流との合計がACアダプターの供給電流を越えない範囲内のみで可能です。2台以上の機器をご使用の場合は、最大供給電流2AのヤマハACアダプターPA-5をおすすめします。

★R100(リバーブプロセッサー)へのカスケード接続による電源の供給は、故障の原因となりますので、絶対にお避けください。

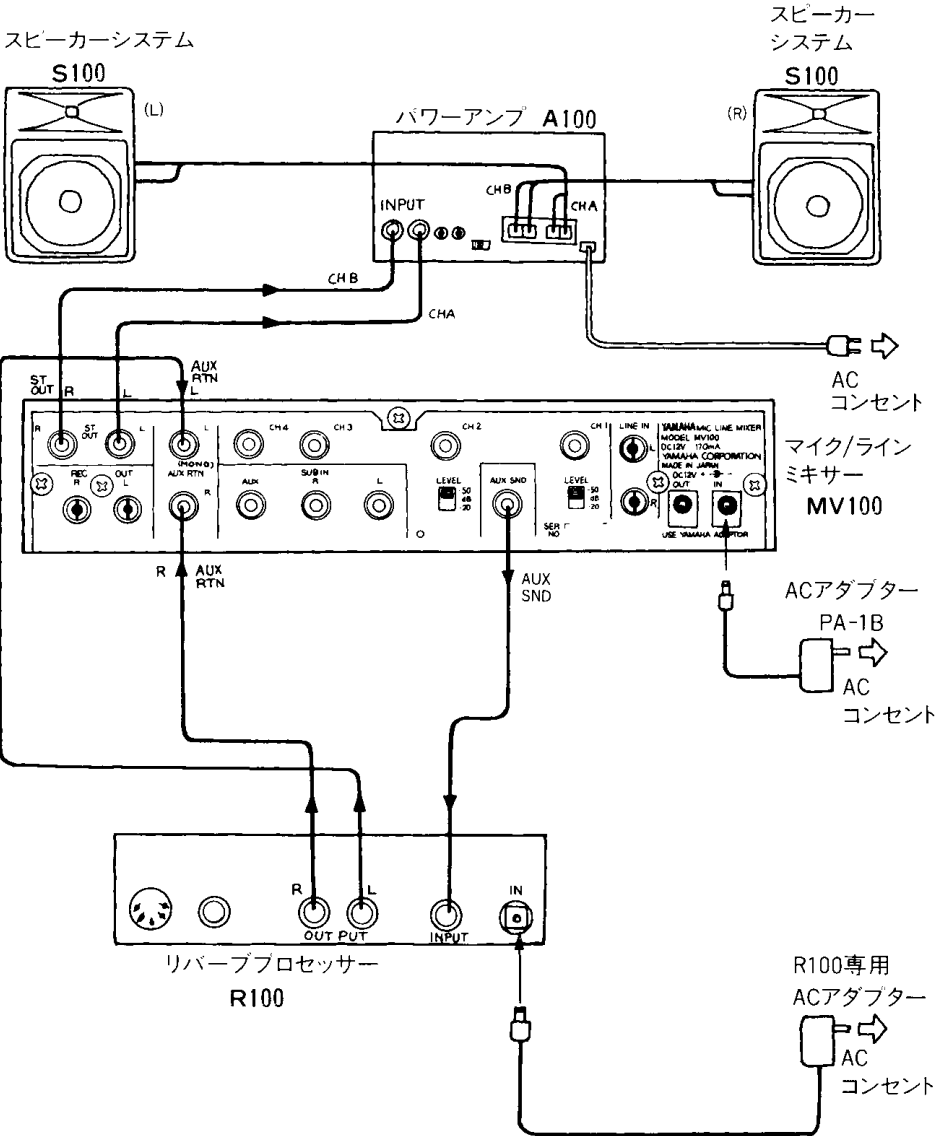
# システムセッティング例

## 1. 基本的な接続

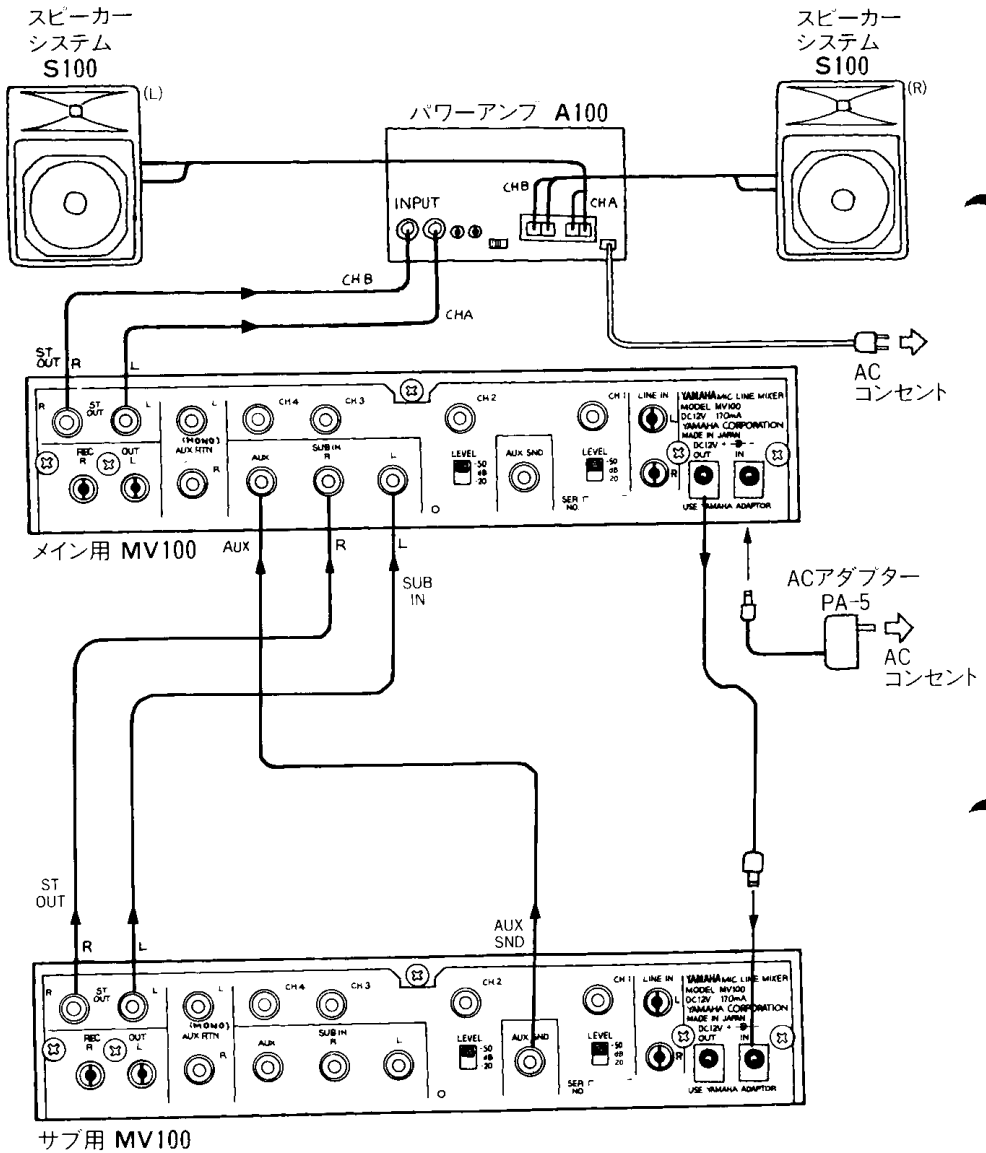




2. エフェクト効果を得るには……AUX SND, AUX RTNを使用



3. MV100を2台使用して、チャンネル増設するには……SUB INを使用



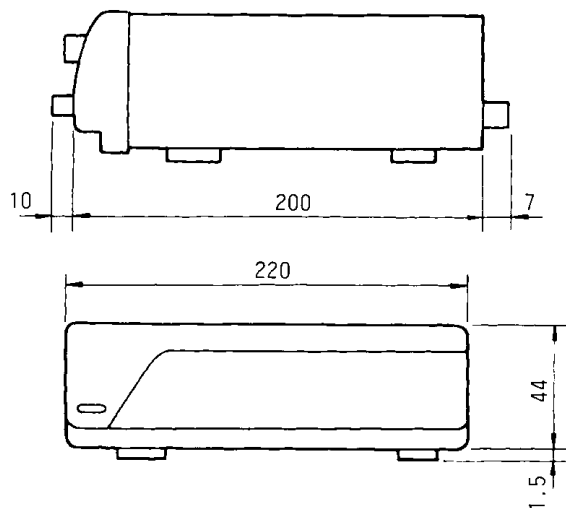
# 仕様

機能	チャンネルボリューム×4、PANコントロール×4、 AUXボリューム×4、LOWイコライザー×2(CH 1, 2のみ)、 HIGHイコライザー×2(CH 1, 2のみ)、 -20dB/-50dB切替スイッチ×2(CH 1, 2のみ)、 AUX RTNボリューム×1、AUX SNDボリューム×1、 マスターボリューム(L, R)×1、PHONESボリューム×1、 L/Rレベルインジケータ、ACアダプターIN/OUT端子
電気特性	周波数特性 : 20Hz~20kHz、0±1.5dB 全高調波歪率 : 0.1%以下 チャンネルセパレーション : 50dB以上 入力換算ノイズ : -122dB イコライザー特性 : ±15dB(100Hz, 12kHz)
その他	電源 : ACアダプター(DC+12V)〈オプション〉 消費電流 : 170mA 寸法(W×H×D) : 220(W)×45.5(H)×217(D)mm 重量 : 1.3kg 付属品 : DCカスケード電源供給ケーブル×1

※ OdB = 0.775Vrms

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

# 寸法図



単位：mm

# 入出力仕様

## 入力端子

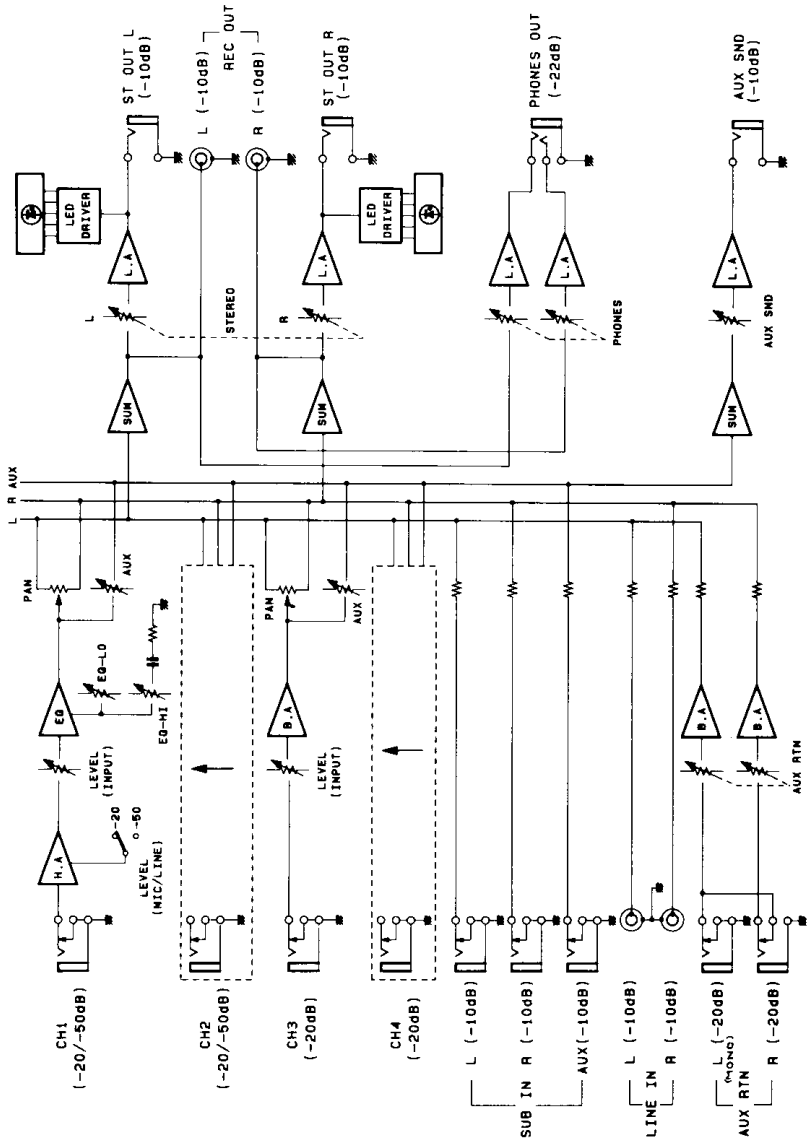
	入力感度	入力インピーダンス	ジャック
CH 1, 2	-20/-50dB (77.5/2.45mV)	20k $\Omega$	ホーンジャック
CH 3, 4	-20dB (77.5mV)	20k $\Omega$	ホーンジャック
AUX RTN (L(MONO),R)	-20dB (77.5mV)	20k $\Omega$	ホーンジャック
SUB IN (AUX,L,R)	-10dB (245mV)	20k $\Omega$	ホーンジャック
LINE IN (L, R)	-10dB (245mV)	20k $\Omega$	ピンジャック

## 出力端子

	出力レベル	出カインピーダンス	ジャック
ST OUT	-10dB (245mV)	600 $\Omega$	ホーンジャック
AUX SND	-10dB (245mV)	600 $\Omega$	ホーンジャック
REC OUT (L, R)	-10dB (245mV)固定	600 $\Omega$	ピンジャック
PHONES	-22dB (61.56mV) 8 $\Omega$	100 $\Omega$	ステレオホーン ジャック

\* OdB=0.775Vrms

# ブロックダイアグラム



# サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で  
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございませ  
ん。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お  
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。  
無記名の場合は無効になりますので、くれぐ  
れもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに  
ご購入の日から向う1か年間の無償サービスをお約束  
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期  
間中であっても実費を頂戴させていただくことになり  
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ  
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、  
保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ  
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー  
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に  
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ  
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に  
はサービス料金を頂たく場合もあります。又お買上げ  
店より遠方に転移される場合は、事前にお買上げ店あ  
るいは電音サービス拠点にご連絡ください。転移先  
におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、  
引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよ  
う手続き致します。

満1か年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな  
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせてい  
ただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低  
8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能  
を維持するために必要な部品のことです。)

そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマ  
ハサービス網までお問い合わせください。

## ■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点 (お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4 8(シルバークホールビル2F) TEL (025) 243-4321
大阪電音サービスセンター	〒965 吹田市新島屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松店內) TEL (0878) 51-7777 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒464 名古屋市中区玉川町2-1-2 (ヤマハ名古屋流通センター3F) TEL (062) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 (ヤマハセンター内) TEL (011) 513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市青葉区5丁目7-1(道路共同配送センター3F) TEL (022) 236-0249
広島電音サービスセンター	〒731 01 広島市安佐南区依田町西2-27-39 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-6711
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-1158

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

## ヤマハ株式会社 音響システム事業部

東京営業所	〒430 浜松市中央町10-1 TEL (0534) 50-2493
近畿営業所	〒150 東京都板橋区2-10-7 新大塚ビル3F TEL (03) 4761521
東京営業所	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 天竺ビル TEL 03(5)438592
大阪営業所	〒942 大阪府南区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL 06(252)5231
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL 052(201)5145
福岡営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL 092(472)2155
札幌営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL 011(512)6113
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-10 TEL 022(222)6146
広島営業所	〒730 広島市中区船場町1-1-18 TEL 082(244)3744

**YAMAHA**

YAMAHA CORPORATION  
P.O.Box 1, Hamamatsu, Japan

8812 R2   Printed in Japan